

6 現在の持ち家率

団塊世代の8割近くは持ち家を取得している

団塊世代は、景気の浮き沈みは経験しながらも、基本的には日本の経済成長と歩調をあわせるようにガンバって働き、一定の資産を形成してきた。金融広報中央委員会の調査では、持ち家率は50歳代が75.6%で、60歳代は79.6%に達している。また、総務省統計局の『国勢調査』でも、一都三県の55歳～59歳の持ち家率は70.3%だった。

本調査においては、「自己所有一戸建て」(51%)と「自己所有マンション」(25%)を合わせると、持ち家率は76%に達している。本調査の対象者は同世代の進学率からみると、やや大卒の比重が高いことあり、持ち家率も平均的水準に比べると若干高くなっている。

コラム

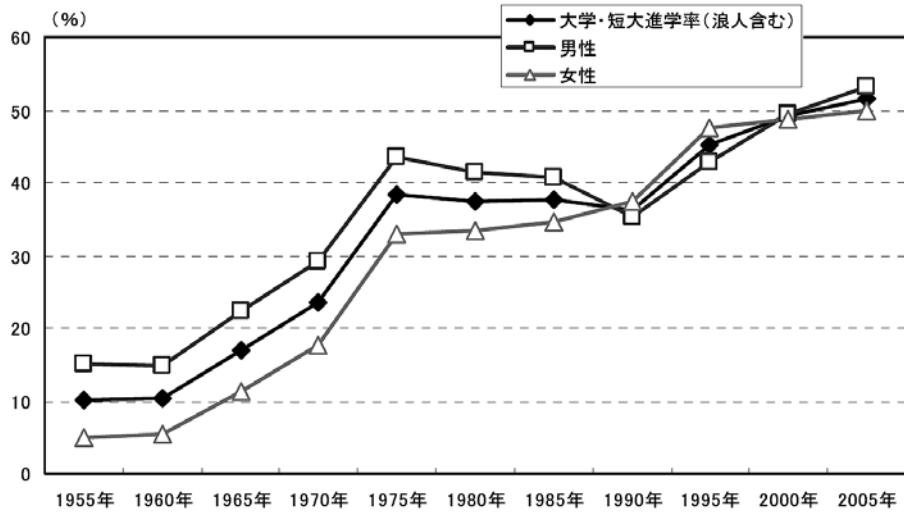
団塊世代の大卒は4人に1人

文部科学省の『学校基本調査』から団塊世代の短大を含めた大学等への進学率をみると、団塊世代の先頭打者である1947年生まれが18歳に達する1965年で、男性が22.4%で女性が11.3%、男女合計では17.0%。これが70年になると男性は29.2%、女性が17.7%に上がったため、男女合計は23.6%にアップする。しかし、いずれにしても、近年の5割近い進学率に比べるとまだまだ大卒は少数派だったのである。

現在の住まい(単一回答)

		自己所有一戸建て	自己所有マンション	会社所有・借上げの社宅・寮	賃貸住宅	親族所有の住宅	その他	無回答
凡例								
全体	(n=1,500)	50.7%			25.3	2.7	14.9	5.9 0.6
性別	男性	(n=750)	52.0		23.5	2.7	17.7	3.7 0.4
	女性	(n=750)	49.3		27.1	2.8	12.0	8.0 0.8

大学・短大への進学率



出典：文部科学省『学校基本調査』(2006年)